



## ■エルガー：デュエット 他

《奏者紹介》

道順憲一 (Cb) クラシックギターから始まり、高校時代に低い音域のコントラバスの魅力に憧れjazz系で演奏しておりました。今はオーケストラで楽しんでおります。

市川英史 (Tb) まともにjazzなどやったことがないのですが、下手の横好きで参加させて貰いました。

《曲目紹介》

**エドワード・エルガー：デュエット** イングランドの作曲家で「威風堂々」で知られています。この曲は知人の結婚式の余興に作られたそうで、新郎がコントラバス、エルガーがトロンボーンを演奏したそうです。

**コールポーター：ユード・ビー・ソー・ナイス・トゥ・カム・ホーム・トゥ〜 ホワイトクリスマスバージョン** 映画“Something to shout about”の挿入歌であり、「あなたが待っている家に帰って来られたらすばらしいだろう」という意味で、クリスマス夜に、切ない歌が合うかと選曲。

歌手ヘレンメリルの歌で有名ですが、何処か青江三奈の声に似ていてYokohamaとラップします  
静かなスイング演奏してみたいと思いますが、クリスマスのイメージでアドリブ演奏を試みます。

## ■モーツァルト：弦楽四重奏曲 第3番 ト長調

《奏者紹介》 安斉佳秀 (Vn1)、笹原伸雄 (Vn2)、野内勝 (Va)、富山辰夫 (Vc)

《曲目紹介》 1772年10月、モーツァルト父子はヴォルフガング(16歳)のオペラ上演のため、ミラノへ楽旅に出ることになりました。父レオポルトは滞在先で、「退屈しのぎ？」に弦楽四重奏曲を書くことを彼に命じ、6曲の四重奏曲ができました。

“ミラノ四重奏曲”と呼ばれ、本日の演奏は、その2曲目です。第1楽章は軽快なプレスト。

第2楽章の深遠なアダージョはこのセット随一の内容です。第3楽章はメヌエット。終楽章にメヌエットを置くのは、当時ミラノで流行りの形式でした。

## ■パウル・ヒンデミット：管楽七重奏曲

《奏者紹介》「とんがり木管五重奏団」に、トランペットとバスクラの名手を迎え、難曲に挑戦します！

大槻郷子 (Fl)、水橋恵津子 (Ob)、大貫京子 (Cl)、松本由佳子 (Fg)、千田理路 (Hr)、  
前澤磨澄 (Bcl・賛助)、安藤宣明 (Trp・賛助)

《曲目紹介》 ヒンデミットは1895年ドイツ生まれの作曲家です。ストラヴィンスキー、ハルトーク及びシェーンベルクと共に、今世紀の音楽に大きな影響を与えたとされています。鉄道オタクだったようですが、この曲には特にその影響はみられません。

ロマン派的な音楽の語法ではなく、独自のポリフォニー様式を構築しているため、とっつきにくいかもしれませんが、例えば一つの楽器(トランペットなど)に注目して聴いていくと、実に豊かで美しい旋律が使われています。楽器編成が特殊であることから演奏機会のほとんどない珍曲、どうぞお楽しみください。

- I. Lebhaft
- II. Intermezzo: Sehr langsam
- III. Variationen: Massig schnell
- IV. Intermezzo: Sehr langsam
- V. Fuge: Alter Berner Marsch

# 港北区民交響楽団 室内楽コンサート Vol.8

■ コレツリ/クリスマス協奏曲 (弦楽四重奏+チェンバロ)

■ バッハ/主よ人の望みの喜びよ 他 (オーボエ アンサンブル)

■ ワイセンボーン/ファゴット三重奏のための6つのトリオより

■ グルーバー/きよしこの夜 他 (チェロ アンサンブル)

■ ヴィラ・ロボス/Choros No.2 他 (フルート、クラリネット、ピアノ)

■ エルガー/デュエット 他 (コントラバス、トロンボーン)

■ モーツァルト/弦楽四重奏曲 第3番 ト長調

■ ヒンデミット/管楽七重奏曲



2014年12月21日(日)

大倉山記念館

主催/港北区民交響楽団、横浜市大倉山記念館

次回演奏会のご案内

港北区民交響楽団 第55回定期演奏会

2015年1月31日(土) みなとみらいホール(大ホール)

小澤和也指揮 チャイコフスキー/交響曲第3番「ポーランド」他